



ロータリーを通じて 世界理解と平和を

WORLD UNDERSTANDING & PEACE THROUGH ROTARY



会長 新穂光一郎 幹事 藤川享胤 副会長・クラブ奉仕 内山喜一 職業奉仕 迎田 稔 社会奉仕 川村徳男 国際奉仕 横田庄司 青少年奉仕 佐藤順治

出席報告：会員 68 名 出席 51 名 出席率 75.00 % 前回出席率 76.47 % 修正出席 62 名 確定出席率 91.18 %

ロータリー雑誌週間にちなんで！

会員 小池 繁 治 君

本来であればロータリアン誌について話を申し上げるべきですが、それについての蘊蓄がありませんので、出版物について本屋の立場から少々お話しして責を果たしたいと思います。

現在日本の人口は1億1千7百万人、出版物の売上げ高は新聞を除き1兆9千668億円、これを1人当りになおしますと年間約1万6千800円となります。山形県を見ますと人口125万人、書店数350店、販売高は163億円で1人当り年間1万3千円となります。全国の出版物の約4分の8の出版物が山形県で売られているということになります。このように比較しますと如何にも山形県人は勉強していないような感を受ける方もいらっしゃるのではないかと思います。

しかし言源をたどって見ますと日本で学問をする、本を読むと云う意味で使われている勉強も、中国では本来強いて勉める事、値段を勉強する意味で商人が安い値段で品を売る事の意味で使われております。

では読書も強いてしなければならないものかどうか疑問がでてくるわけですが、私は読書はある意味では旅と同じ効用があり、いろんな種類にわけられるのではないかと思います。例えば実用書はビジネストリップ、娯楽書は観光旅行、教養書は博物館を訪ねる旅だとも云えると思います。では雑誌はその価格が高いのか安いのかですが、昭和5年はがき2銭の頃、本は約1円90銭、57年はがき

40円で2,000倍ですが、本は今約1,300倍位だと思っています。ただ雑誌及び本の価値は単に価格のそれではなく効用だと思います。雑誌1冊の中には大変な情報量があり、又それぞれ違った情報を伝えています。だからせっかく買った雑誌だから全部の記事を読まなければ損だと感じられては困るわけです。だから自分の求めるものを読み出して他は捨てても良い位の大切さが必要だと思います。多くの情報の中で自分の求めているもの又は琴線にふれるようなもの、心にふれたものが1箇所でも出会った場合は本の持つ価値は充分感じられるものでないかと考えます。

暇がないから本が読めないと云う事を耳にしますが、これからは余暇が増えて来ます。兎角今まで余暇と云うと外に目が向けられていて、考える楽しみ、本を読む楽しみは、レジャーと云われていませんでした。しかしこれからはイギリス人が芝生の庭に出て推理小説を読み、謎とときに自由な時間を持つように、余暇の使い方も外に向けられる楽しみだけでなく、物を考える楽しみにレジャーを求める事もしていただきたいと思います。

最初は兎に角本に親んでもらい、そして考え、物を知る事に楽しみがあり、生活を豊かにする事に読書の効用があり、終には本なくしては生活が出来ないようになっていただく事が本屋にとっても非常に有難い事だと思っております。

庄内に空港を建設しましょう

会長報告

- 鶴岡市庁舎竣工式に出席しました。(S57.4.14)
席上、市庁舎の主体工事鶴岡建設KK、電気関係は東北電気工事KK、設備は荘和設備工業KK、それぞれ感謝状を授与されました。大変おめでとうございます。
- 第5回のクラブ協議会 4月27日午後4時30分より湯田川の御殿旅館にて行います。新入会員の出席をすすめたい。委員長欠席のときは代理出席をお願いします。
- 社会奉仕委員会で先般鶴岡市に「行事案内版」を寄贈しました。斎藤市長より感謝状を頂きました。
- 会員の入院…風間慶三会員 4月5日より東京のガン研に入院、経過は良好です。
- ユネスコより「ピカソ」の生誕100周年記念について
- インターンティーミーティングの最終の全体会議4月13日に行いました。あとは今週の土曜日に第一インにて行います。

幹事報告

- 長井R.C 20周年記念式典案内
S57年5月22日(土)長井市成田「はぎ苑」
登録料10,000円(4月30日締切り)
- 各クラブ会報一遊佐・鶴岡西各R.Cより
- 新会員推薦 氏名発表
鶴岡工業高等専門学校長 染野 檀 君

スマイル

親睦委員会

- 富樫良吉君(鶴岡建設KK)
- 中村富昭君(東北電気工業KK)
4月14日兩名鶴岡市役所庁舎竣工式にて感謝状を授与される。

ビジター

- 鶴岡西R.C 佐藤成生君、半田茂弥君、井上彬君
笹本森雄君、佐藤拡君

転勤時期に思う

横田庄司君



当社の異動時期は新入社員の3ヶ月研修の関係で7月1日である。春の異動が新聞等で報じられたり、身近な知人が居なくなると淋しさと同時に羨ましく思う。3、4年で異動が慣習化されている組織内に居ると新しい職場に変わることが人生の活性化につながると同時に楽しみでもある。3年以内に見知らぬ場所で成果を出さなければならない辛い立場ではあるが。

新会員紹介

工藤弘道君



S19年4月20日 秋田市に生れる。
S43年3月 早稲田大学第一商学部卒
S43年4月 住友海上火災保険株式会社入社
S57年3月 同上鶴岡支社長として着任
家族： 妻 工藤利子(35才)
長男 工藤至史(9才)朝陽第六小 4年生
長女 工藤慈子(7才) " 3年生
次女 工藤彰子(5才)みどり幼稚園年長組
趣味：スポーツ(ゴルフ・合気道・籠球) 読書

入会にあたり

鶴岡公園の桜も今が満開、春風一しおうららかで身も心ものどかさを覚える頃となりました。

さて、私この度、板垣広志君のご推薦をいただき伝統ある鶴岡ロータリークラブに入会させていただきました。まずもって会員皆様様に厚くお礼申し上げる次第でございます。

仙台からご当地にこの3月に赴任してまいりましたが、ロータリー歴は今回が初めてでございます。クラブの理念、歴史、社会奉仕のことなど只今勉強中でございますが、なにぶんのご指導をお願い申し上げます。「損害保険事業を通じて社会公共に奉仕し、その福祉と繁栄に貢献する」私の勤務先の事業精神を披露させていただきまして入会のご挨拶にかえさせていただきます。

(今週の担当者 早坂重雄)